平成26年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課: 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1．基本情報

1004

施設名	伊丹市立工芸センター			
施設の設置目的	工芸（クラフト）を通して市民の豊かな暮しを創出するとともに産業の振興と文化の発展を図る。			
伊丹市総合計画（第５次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり			
指定管理者の名称	公益財団法人　伊丹市文化振興財団 （団体の住所又は所在地）　宮ノ前1-1-3　いたみホール内			
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日		
管理運営上の目標（管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標）	指標名	実施事業数　（単位：　回　）		
	指標の意味	年間の企画展、講座等の実施数		
	今年度の目標値	92	今年度の実績値	104

2．利用状況

利用状況等の推移		H17※	H22	H23	H24	H25	H26（上期）	H26（通期）
	来館者数（人）	38,186	72,577	64,739	72,794	59,113	33,820	59,060
	延べ事業開催回数(回)	61	90	83	100	100	68	104
	延べ事業参加者数(人)	21,574	45,852	43,505	52,258	39,265	22,226	38,693

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3．管理経費等

平成26年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	＜収入の部＞		＜収入の部＞	
	指定管理委託料	38,031	指定管理委託料	38,031
	事業収入(講座料収入等)	17,528	事業収入(講座料収入等)	16,687
	利用料金	229	利用料金	205
	会費収入	990	会費収入・協賛金他	2,144
	合計	56,778	合計	57,067
	＜支出の部＞		＜支出の部＞	
	人件費	25,926	人件費	26,463
	維持管理経費	6,314	維持管理経費	6,488
	事業等経費	6,020	事業等経費	6,020
	自主事業経費	18,518	自主事業経費	18,078
	合計	56,778	合計	57,049
	＜収支差＞		＜収支差＞	
	収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	18

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入	0	0	0	0	0	0
	（内、使用料収入）	0	0	0	0	0	0
	市の支出	34,934	35,959	35,315	39,219	41,846	46,629
	（内、指定管理委託料）	34,934	35,959	35,315	38,562	37,491	38,031
	実質経費（歳出－歳入）	34,934	35,959	35,315	39,219	41,846	46,629

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4．業務評価

評価項目		（具体的内容）	評価結果 指定管理者自己評価 評価	特記事項	施設担当課評価 評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業務の業務水準が下がらないよう、仕様書による点検を随時実施している。 また、伊丹市環境マネジメントにもとづき、節電節水等徹底した環境への配慮に取り組んでいる。	A	館内は常に清潔に保たれており、アンケート結果も高評価である。施設の老朽化が進行していく中で、施設管理は協定書・仕様書の水準を満たし、適切に行われている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	救命救急講習受講によるAEDの操作法等の習得をはじめ、接遇等の自主研修の開催や各種研修への積極的な参加を行っている。	B	接遇や能力研修などの他、救命救急講習（AED）などにも参加し、能力向上に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を整備、消防署員立会いを含む年２回の防災訓練を実施している。	B	みやのまえ文化の郷で施設間の連携を図り、連絡体制は整っている。また防災訓練も適時、実施している。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	アンケートを随時実施し、意見・要望に対し迅速な対応を行っている。職員だけだなく、委託業者にも施設の一員として接客マナー・サービスの向上に努めるよう指導している。	B	アンケート結果をもとに、みやのまえ文化の郷内で定期的に情報交換を行っており、指定管理者の特性を活かしサービス向上に取り組んでいる。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組を確立しているか。	A		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	施設の特色を利用した展示・講座等各種事業を開催し、好評を得ている。	B	オリジナル性の高い様々な企画展を実施し来館者の獲得に努めている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	電子データ等すべての情報管理は厳格に行なっている。また郷町ショップブログを新規開設する等広報に積極的に取り組んでいる。	B	各種データは適切に管理されている。また、ホームページや広報紙だけでなくSNSなど新しい媒体を取り込む他、各種メディアや団体等に対し、積極的に情報提供を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適切に執行している。	B	収支計画に基づき、適正に行われている。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味
「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。　「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。
「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。　「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価 B	オリジナル性の高い様々な企画展を行い、講座事業では初心者から上級者までの幅広いニーズに対応する講座を開催している。施設、設備の管理については指定管理者としてその状況把握とともに、修繕計画を作成する等、適切な管理に努めていただきたい。

「総合評価」欄の記号の意味
「AA」＝管理運営が非常に優れていると認められる。　「A」＝管理運営が優れていると認められる。
「B」＝管理運営が適正であると認められる。　「C」＝管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成26年4月1日　～　平成27年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・地下1階に下りる階段の上の鍋を見たら雨漏りの跡があり気になりました。	・修繕対応済
	・郷町ショップでカフェがあればいいなと思いました。	・石橋家住宅１階カウンターでカフェを開催（不定期）。今後も特色あるカフェを開催予定。
回答者数 772	・郷町ショップは、興味深いよいものがたくさんあった。	・ショップブログの開設やショップ案内パンフレットを作製、配布するなど、情報発信をさらに強化。

5．改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし	